学校番号	312

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「　美術１　」　（光村出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・素材の特徴と適切な用具の扱い方を学び、丁寧な制作をしよう。
・作品を客観的に鑑賞し、表現の違いや良さをみつけよう。

2　学習の到達目標

・材料、用具の特性を知り、それらの扱い方を学ぶ
・一つ一つの制作工程を確認しながら確実な作業を行わせる
・制作レポート、鑑賞レポートを丁寧に記入し内容を充実させる。
・作品鑑賞を通して、他者や自己理解を深め、学びに向かう力、人間性等を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、作品に表している。	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	鑑賞	教科書等を鑑賞し多様な表現形式について学び美術Ⅰの学習イメージを持つ。レポート記入後、鑑賞内容を発表する。	a:美術作品への理解を深めている b:美術作品や文化に対する感じ方を深めている c:美術の表現に関心を持ち意欲を高めている	レポート・発表内容	レポート・発表内容	鑑賞・発表態度
	色彩構成	【デザイン】 ・色彩基礎、色彩構成 ・ケント紙に作図する ・アクリルガッシュと筆の扱いを学び、混色して配色カードと同じ色をつくり美しく彩色する ・明度、彩度、色相を学び条件に合った箇所に彩色する ・無彩色と有彩色について学び、色を明度としてとらえ立体感のある彩色をする ・面積比、補色対比を理解し効果的に作品に用いる ・制作レポート、鑑賞レポートを丁寧に記入する	a:学習内容に関心を持ち、配色カードと同じ混色をつくることができる。アクリルガッシュ、用具の特性を理解し、正しく使うことができる。 b:有彩色、無彩色、明度、彩度、色相、補色を理解し色彩構成をしている c:表現方法を工夫し意欲的に取り組んでいる。完成作品を客観的に見て丁寧な文章で表現できている。	制作方法 完成作品 用具や素材の適切な使用	アイデアスケッチ、制作中の試行や工夫、レポート内容	制作態度 準備、片付け、レポート内容
	夏休み鑑賞レポート	【鑑賞】 高校展またはその他の展覧会等を鑑賞しレポートを丁寧に書く	a:作品や技法に理解を深めている b:作品や作者の意図や工夫に感じ方を深め理解しようとしている c：作品や作者に関心を持ち意欲を高めている	レポート内容	レポート内容	レポート内容

2学期	連続版による紙袋	【テキスタイルデザイン】 ・連続させると形の一部がつながり、向きの組み合わせ方で違う形が生まれる版のデザインを考える。 ・彫刻刀で版を彫り、連続させる向きのパターンと配色を考え、紙袋に3～4色重ねて摺る。 ・紙袋の表と裏で違ったデザインができるように工夫する。 ・制作レポート、鑑賞レポートを丁寧に書く。	a:彫刻刀やアクリルガッシュ等の使用方法と特性を理解し、制作ができている。 b:版の向きと連続を理解し効果的なデザインを考えることができる。試し摺りを繰り返し、工夫を重ねている。 c:学習内容に関心を持ち、手順や材料の確認をしながら意欲的に取り組んでいる。完成作品を客観的に見て丁寧な文章で表現できている。	制作方法 完成作品 用具や素材の適切な使用、	アイデアスケッチ、制作中の試行や工夫、レポート内容	制作態度 準備、片付け、レポート内容
3学期	3Dクロッキー	【立体】 ・高校生活での自分らしい動きのあるポーズをクロッキーする。 ・最低限の針金を用いてクロッキーを立体的に作る。 ・小道具(持ち物等)をつくる。 ・制作レポート、鑑賞レポートを丁寧に書く。	a: 学習内容に関心を持ち、手順を理解している。道具や材料の使用方法を理解している。針金とペンチの扱い方を学び制作ができる。 b:立体を理解し素材を無駄なく使い表現している。材料の特性を生かし、表現方法を工夫している。 c:自分らしい動きを表現することに関心を持ち、手順や素材の扱い方を工夫しながら意欲的に取り組んでいる 完成作品を客観的に見て丁寧な文章で表現できている	制作方法 完成作品 用具や素材の適切な使用、	アイデアスケッチ、制作中の試行や工夫、レポート内容	制作態度 準備、片付け、レポート内容
	校内展レポート	・校内展を鑑賞し、レポートを丁寧に書く。	a:作品や技法に理解を深めている。 b:作品や作者の意図や工夫に感じ方を深めている。 c:作品や作者に関心を持ち意欲を高めている。	レポート内容	レポート内容	レポート内容

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度